

「多賀城は楽しいまち」と子どもたちの記憶に残るイベントを

多賀城や七ヶ浜、塩釜で地域イベントに関わっている高橋龍矢さんは、もともとお祭りやイベントに足を運ぶ方ではありませんでした。しかし、知人に趣味である料理の腕を見込まれ、塩釜のイベントで飲食ブースを手伝ったことをきっかけに「多賀城フェスティバル(多賀フェス)」など地域のイベントに関わるようになりました。

企画運営の中心を担い、多くの人と一緒に取り組むようになると「イベントは人と人をつないでいる」「地域づくりは素敵だ」と気づいたそうです。さらに「まちの魅力を活かして盛り上げたい」という熱い想いがあれば多賀城をもっと楽しくできると考え、手伝ってくれそうな人に声をかけたり、若手メンバーでアイデア出しを行うこともあります。

このようにして得た人とのつながりやノウハウを活かして多賀城のイベントに取り組むことで、年下の世代や子どもたちに「多賀城は楽しいまち」という記憶を残したいと話してくれました。



2014年の「多賀フェス」での高橋さん。イベントの盛り上げに熱く奮闘中！



高橋さんは多賀城在住。理容店を営むかたわら、「多賀フェス」などのイベントの企画運営に関わっています。



2015年には、「史都多賀城万葉まつり」に多賀フェスとして参加し、ねぶたの運行を行いました。

イベントに行ってみよう！

「肉フェス(仮)」

日にち：10月10日(月・祝)

会場：多賀城駅前

たがフェス

検索

主催：多賀城フェスティバル実行委員会
<https://www.facebook.com/taga.fes/>

当日！
手伝ってくれる方も
募集中！



ヒント from “たがさぽPress”

たがさぽのブログから地域づくりに役立つ記事をご紹介します

詳しくはブログへ

<http://blog.canpan.info/tagasapo/>

●「チラシ成功のポイント」教えます！ 2016年8月2日(火)掲載
「チラシ・ポスターに、何を載せたら効果的か？」と悩んでいる方へ、見て分かりやすいチラシづくりの要素をご紹介します。

●漂流物が素材。アート作品で海浜美化啓発活動 2016年8月18日(木)掲載
「NPO法人日本渚の美術協会」は、海岸に流れ着いた物での作品づくりを通して、海浜環境に対する気づきを与えることを目的に活動しています。

●30歳、地域の未来に乾杯！ 2016年8月25日(木)掲載
30歳を機に、その地域の出身者や在住者が集まる「30歳の成人式」。再会と新しいつながりづくりや、地域の現在・未来を考えることがねらいです。

“たがさぽPress”とは？

たがさぽスタッフによるブログ。興味が湧いたらたがさぽPressへ！ ＊ケータイ、スマホからご覧いただけます。



たがさぽからのお知らせ

たがさぽが企画する「一歩ふみだすきっかけ」をご紹介します

ハッピー
ママサロン

Happy Mama Salon

「わたしの子育て」から「地域の子育て」へ

「地域の人に協力してもらいながら子育てできたらいいなあ」と思うことはありませんか？ そんな思いを持つ子育て中の女性を対象に、他の地域の事例を聞いて、みんなで楽しく子育てする方法を話し合います。ゲストには、「新田mama*cafe」の眞野美加さんをお迎えします。

日時	2016年10月22日(土) 10時～12時30分
会場	多賀城市民活動サポートセンター 2階ギャラリー
費用	無料(託児希望の場合は、子ども1人につき500円)
定員	15名(先着順/要事前申込)
申込み	多賀城市民活動サポートセンター窓口または電話にて
問合せ	022-368-7745 (多賀城市民活動サポートセンター)

※託児を希望する場合は、10月13日(木)までにお申し込みください

「話すこと」は「放つこと」 「ココのびカフェ」でお話しませんか？

障がいの有無に関わらず、発達障がいや精神障がい、引きこもりを含めた、心に困りごとを抱える人が安心して自分の想いを話したり相談できる場はまだまだ少ないと言われています。このような人たちやその家族のための居場所づくりを行っている「ココのびのび☆プラネット（以下「ココのび」）」の新たな取り組みについて、代表の土生浩子さんにお話を伺いました。

活動をはじめたきっかけを教えてください

以前、娘の不登校で悩んでいた時に参加していた「アフタースクールのびのびクラブ」の活動終了に伴い、引き継ぎ形で「ココのび」を立ち上げました。私自身、「のびのびクラブ」への参加によって救われたという想いが根底にあったので、家や学校、職場以外で心が安らぐ居場所が必要だと思い「ココのびカフェ」をはじめました。心の障がいを持つ子どもへの支援は他の団体も行っているのですが、主に中高生や社会人を対象としています。当初は困りごとを抱える親御さんの参加がほとんどでしたが、最近では心に疲れを感じている大人の参加も増えています。

「ホッとひといき...」



代表の土生さん。「活動を手伝ってくれたり、アイデアを出してくれるサポーターさんを募集しています！」

ハーブティーと、手づくりのお菓子でホッと一息。お菓子は、土生さんの人柄のようなやさしい味です。

新しく個別カフェの活動もはじめましたね

昨年度までは来た人が交流できる場をつくってききましたが、ゆっくり話したいという要望も出ていたので、予約制の個別カフェを月1回設けることにしました。私は専門家ではありませんが、1時間ゆっくりお話を聴くことで参加者にリラックスしてもらいたいと思っています。毎回数人から申し込みがあって、ほぼ毎月来る人もいます。

発達障がいでも精神障がいでも、本人が心に抱える困りごととは一人ひとり違ってきます。それぞれ周りに気を使って生活しているので、「ここに来ると落ち着く」「話を聴いてもらえる」という安心できる場所が必要だと感じています。また、親御さんとは子どもへの接し方についても話題になりますが、元気になるように悩みだけでなくいろいろな方向からお話するようにしています。話すことで私自身も救われたので、「ココのびカフェ」が心を解放して少しでも気持ちがスッキリできる場所になればと思います。

活動を通して伝えたいことは？

心の中に困りごとがある人は、外見だけでは分からないこともあり普段気に留めない人が多いと思います。それでも、みなさんいろいろなことを乗り越えながら生活しています。「何でできないの？」とは言わないで、「できない人もいる」「いろんな人がいる」という気持ちでいてくれると、世の中全体がやさしくなると思います。

必要とってくれる人がいるうちは、楽しい気持ちになれる場所をめざして活動を続けていきたいと思っています。「ココのびカフェ」、気になった方は気軽にお越しください。

☑ ココロのびのび☆プラネット

2013年活動開始。主に心に困りごとを抱える中学生以上の人の「あなたらしく楽しく生きる」ことを応援しています。たがさぽで開催している、いろいろなお話をしたり自分の時間を過ごせる場「ココのびカフェ」は、今年度から「みんなのカフェ」と「個別カフェ」をそれぞれ月に1回ずつ開いています。

☑ みんなのカフェ

- ・日時：月1回 金曜日、14:00～20:00
- ・予約不要、参加費500円

☑ 個別カフェ

- ・内容：1時間ずつ個別にお話をお聴きします
- ・日時：第3金曜日、14:00～20:00
- ・予約：要予約（前の週の日曜日までに申し込み）
- ・参加費：500円
- ・申し込み：kokoro.nobi@gmail.com

「ココのびカフェ」の日程などはこちら！

CHECK!

ココのび

検索

<http://blog.canpan.info/kokonobi/>